計画对象	十尺	<b>一</b> 灰。	24十段		尹 未 計	<b>世                                    </b>	へ一般用ノ					1
事務事コー		778	110     事務       210     事業名	国分中央	·高校維持管 <sup>3</sup>	理事業		担担				教育部 国分中央高等学校
政策:	名	4	育み磨きあう	まちづくり				グ	ル	_	プ	管理グループ
施策:	名	1	学校教育の	充実				電	話	番	号	46-1535
基本事	業名	7	高等学校教	育の推進				内	線	番	号	
	会計	一角	<b>设会計</b>			± **	□ 単年度のみ					
予	款	10	教育費			事業 期間	■ 単年度繰返 (開始:	年月	ŧ	S	30	年度~)
予 算 科	項	4	高等学校費			\A][H]	□ 期間限定複数年度	(			~	)
i i	目	1	高等学校総	務費		根拠法令・						
	т П	778	3110 • 778210 • 7	78310		条例等						
関連計	画		•									

#### 1. 現状把握 (1)事務事業の目的と指標 <Do>

### ① 手 段 (事務事業の概要)

国分中央高校は、「園芸工学科」「生活文化科」「商業科」「情報会計科」「ビジネス情報科」「スポー ツ健康科」の学科がある。これらの特性を生かした確かな学力の定着に努め、多様な進路実現を図 る。また、豊かな心を育て、地域・保護者から信頼され、期待される学校づくりに努め、魅力ある専門 高校づくりを目指す。そのために高等学校運営の円滑な推進、学校施設・設備の不良箇所改善な ど維持管理に努め、安心安全な教育環境の整備を図る。施設・設備については月1回の安全点検 による不良箇所の確認を行い、担当教諭と協議し修繕等を行う。

## 平成24年度実績

•校舎等手摺設置修繕等

主

な

活

動

円滑な高等学校運営維持費の支出

#### 平成25年度計画

- •施設修繕及び設備修繕
- •円滑な高等学校運営維持費の支出

2	) <b>活動指標</b> (事務事業の活動量)		単位	23年度 (実績)	24年度 (実績)	25年度 (見込)	26年度 (見込)
ア	安全点検回数		旦	12	12	12	12
イ	資格取得試験検定回数		旦	49	50	50	50
ゥ							
3	) <b>対象</b> (誰、何を 対象にしているのか)	<ul><li>④ 対象指標 (③対象の大きさを 表す指標)</li></ul>	単位	23年度 (実績)	24年度 (実績)	25年度 (見込)	26年度 (見込)
P	国分中央高校の施設(農場を除く)	施設数(施設台帳)	箇所	20	20	20	20
イ	国分中央高校の生徒	生徒数	人	870	846	815	827
ゥ							
(5)	<b>)意 図</b> (対象を どうしたいのか)	<b>⑥ 成果指標</b> (⑤意図の 達成度を表す指標)	単位	23年度 (実績)	24年度 (実績)	25年度 (見込)	26年度 (見込)
ア	不良箇所の改善等により適切な 教育環境を実現する。	施設の修繕件数	件	34	39	40	41
イ	進路決定に役立つ学習をする。	「進路について真剣に考え、模試や資格取得等積極的に取り組んでいる」と回答した生徒の割合	%	85	85	86	86
ウ							
7	) <b>結 果</b> (どんな結果に 結び付けるのか)	<b>⑧ 上位成果指標</b> (⑦結果の達成度 を表す指標)	単位	23年度 (実績)	24年度 (実績)	25年度 (見込)	26年度 (見込)
ア	教育環境が整う	「学校生活が楽しい」と回答した生徒の割合	%	92.0	89.0	***	***
1	専門性豊かな人材に育つ	高度資格取得者数	人	866	752	***	***
(2	)事業費	単位:千円 (3)事務事業の環境変化・住	民意見等				

#### 24年度 25年度 (決算) (予算) 当初予算額 36,050 38,471 算 補正及び流用 額

36,050

35,837

#### 国庫補助金 0 県 支 出 0 金 地 債 0 方 算 0 そ ഗ 他 額 般 財 源 35,837

算 合

出 合 計

れている。

38,471

この事務事業は、いつ頃、どのような きっかけで開始されたのか? 高校設立時から円滑な高校教育の推進が行わ

## 事務事業を取り巻く環境は、開始時期又 は5年前と比べてどう変わったのか?

魅力ある専門高校づくりを進めるため、23年度新設 学科再編を行う。さらに平成25年度からは生活文化 科が男子受け入れを始めた。また、校舎等の施設・設 備の老朽化が激しいため、修繕箇所が増大してい

# ③ この事務事業に対して誰からどんな意 見や要望が寄せられているか?

教職員から校舎・体育館等施設の修繕や設備 の修繕の要望がある。

# この事務事業に対する議会から出された 意見

議会で23年度新設学科に対して質問があった。その 中で新設学科「スポーツ健康科」の施設の設備が十 分であるのかなどといった意見があった。

	事業ード	778110778210778310	事務事業名	国分中央高		ŧ			担 当 部 担 当 課	教育部 国分中央	高等学校
			2	成24年度	(決算)	平成2	5年度 (当初	]予算)	平成	26年度 (見	込)
		単位:千円	単独	補助	合計	単独	補助	合計	単独	補助	合計
1	報	酬									
2	給	料									
3		. 手 当 等									
4	共	済 費									
7	賃	金	2,28		2,287	2,426		2,426	2,426		2,426
8	報	賞 費	1,07		1,073	1,472		1,472	1,472		1,472
9	旅	費	3,67	79	3,679	4,180		4,180	4,180		4,180
10	交	際費	04.0	4.77	04.047	01 400		01 400	01 400		01 400
11	需消	用 費 耗 品 費	24,34		24,347	21,422		21,422	21,439		21,439
	燃燃	料費	5,29	34   34	5,290 84	4,372 891		4,372 891	4,372 891		4,372 891
	食			04	04	091		091	091		091
		刷製本費	66	37	667	780		780	788		788
	光		13,27		13,278	13,888		13,888	13,888		13,888
	修		5,02		5,028	1,491		1,491	1,500		1,500
	ישיו	-r⊨ 1°T	3,02		0,020	1,101		1,101	1,000		1,000
12	役	務費	1,41	16	1,416	1,409		1,409	1,409		1,409
_		信運搬費		36	886	927		927	927		927
	広	告 料				·					
	手	数料	37	72	372	328		328	328		328
	保	険 料	15	58	158	154		154	154		154
13	委	託 料	1,54	14	1,544	1,557		1,557	1,557		1,557
14	使用料	及び賃借料	1,12	25	1,125	1,349		1,349	1,349		1,349
15	工事	請負費									
16	原	材 料 費	25	55	255	55		55	55		55
17		財産購入費									
18		,購入費				4,500		4,500	1,000		1,000
19		補助•交付金	1.1	11	111	101		101	101		101
20	扶	助 費									
21	貸	付 金									
22		填及び賠償金									
23		利子・割引料									
24	技質 <i>。</i> 積	及び出資金 立 金									
25 26	寄	<u>立</u> 金 附 金									
27	<del>立</del> 公	<u>啊</u> 課 費									
28	 繰	出 金									
20	11/A	<u>出 业</u> 計	35,83	37	35,837	38,471		38,471	34,988		34,988
1		玉	00,00	21	00,001	00,111		00,111	01,300		01,000
		 県									
	地										
計	辺	地債									
財源	過	疎 債									
内	合	併特例債									
訳											
	そ	の他									
	<u> </u>	投 財 源	35,83		35,837	38,471		38,471	34,988		34,988
		計	35,83	37	35,837	38,471		38,471	34,988		34,988
補	亅	国									
		県 サーザ 姫									
補		基本額			0.050 77			ede over	=0.00[ = 1	· • +===	
平.		初 予 算		3	6,050 千円	<b> </b> _	平成 24 年	片度 財源内	訳の「その他	」の内訳	
成		及び流用		# - C							
24	第 1			第5回		<u> </u>	<b>会加弗</b> 佐。	の声楽中作	カナルの川コ	=H DP	
年	第2			第6回 第7回			<b>参川賀寺</b>	の 事 果 美 他 (	のための収入	流列	
+ 度	第 4			流用		<del> </del>					
-		算合計		加 用	36,050 千円						
	]′ -	<del>r</del> 🗆 📶				シート					

	務事業 コード	778110778210778310	事 務事業名	国分中央	:高校維持	管理事	——— <del>—</del> 業	_				教育		高等学校	$\exists$
2	評価の	部 <see></see>				評価				評	価理日	<u> </u>			
A	・こ( (基	<b>策体系との整</b> の事務事業の 本シートの結果	目的は基本事 果) に結びつく		<ul><li>■ 結びつ</li><li>□ 見直す</li></ul>		_		等学校の運営 は政策に結び				安全な教	女育環境を	整
目的妥当	・このか	<b>共関与の妥当</b> の事業をなぜ同 ゝ? 金を投入して、	<b>市が行わなけ</b>		■ 妥当で		ある		高校は、霧島 が事業を行う			あり、生	生徒の当	学校教育に	つ
性評価		<b>象・意図の妥</b> 象や意図を限		<sup>ト</sup> べきか?		見直す	必要がある 必要がある	霧島市立	高校を対象と	:したも	ので、	適切て	<b>ごある</b> 。		
	4) 成	果の向上余地	t.			九色):	2,3 6,5 6								-
В	上さ	果指標の現状 いせることができ	きるか?		□ 向上系 (十分 ■ 向上系	に成果な	が出ている) 切な教育環境はまだ、十分とはいえない。							ているため、	適
有効性証	・事 よう	<b>止・休止の成</b> 務事業を廃止 な影響があるか	又は休止したい?	場合にどの	■ 影響が		適切な教育環境を形成するのが難しくなり、専門性豊かなの育成や生徒が充実した学校生活を過ごすことが出来なる。								
評価	·目 外 <i>0</i> ·類	<b>以事業との紡</b> 的を達成する7 0手段はないか 似事業との統 に果の向上が期	ためには、この ゝ? 桑合や連携を	)事務事業以		≦段があ 合できな	る い □ 連携		(他に	手段左	がある場	場合の	事務事	業名等)	
С	·成	<b>業費の削減分</b> 果を下げずに (仕様や工法	事業費を削減		■削減気		ر، د		 による施設の きている。	老朽(	比が著	しく、オ	「良箇所	「の発生件 <sup>を</sup>	<del></del> 数
効率性評価	・や 間を ・成	<b>牛費(延べ業</b> り方を工夫して ⊵削減できない 果を下げずに ないか?	「事務事業に付か?	系る業務時	■削減分	戻地がな	l'	事務処理	等は必要最低	氐限度	の業務	<b>务時間</b>	で対応し	.ている。	
D公平性評価	・事 不少	<b>益機会・費用</b> 業の内容が一 ☆平ではないか 益者負担が公	部の受益者に	に偏っていて	■ 公平・				高校生等の限 おり、受益の格					校教育とし	て
	(1)13	欠評価者(課	長)としての	評価結果		(2)全	体総括(振	り返り、反	(省点)						
総括	B 存 C 交	目的妥当性 可効性 功率性 \\\' 平性	■ 適切 □ 適切 ■ 適切 ■ 適切	□ 見直すぬ ■ 見直すぬ □ 見直すぬ □ 見直すぬ	必要がある	所の発 である	生件数が増	えてきてい 、火災受信	るが、経年劣 るのが現状で 言機の取り替え 対応した。	であり、	生徒0	)教育	環境の	整備は不可	「欠
3		、 方向性 <pl <="" th=""><th></th><th></th><th>3 4 7 6 7 6</th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th></pl>			3 4 7 6 7 6										
_		果にもとづく		性			(2)廃止3	ては休止す	トべきとした	場合	の理由	b .			
	□ 事第 ■ 有效 □ 効率 □ 公平		[目的妥 [目 [有 <b>向上</b> ) [有 <b>卜削減</b> ) [効	当性①②、有 当性①②、有 的妥当性①② 効性⑥の結果 効性④の結果 郊性④の結果 平性⑦⑧の結果 平性⑨の結果	が 対性 の が が が が が が が が が が が が が										
(3)	具体的	な改善計画	*	(1)のチェック	ブ項目に対	し、具体	的にどのよう	うに取り組る	じのか						
① 毎 を また き た き と	平成25 、校内第 先順位を 、23年度 育活動の で、専門	年度の取組。 定全点検を実施をつけて修繕し をつけて修繕し 変新設学科「ス・ の取り組みを行 性豊かな人材は こ、就職・進学率	み概要及び をし、予算の範 、生徒の教育 ポーツ健康科 げうとともに、円 の育成や充実	期待される交通用内で必要が環境の整備が等」の特性を 滑な学校運営	<b>か果 ②</b> なところ 円を行う。をかと 生かしばを行う	<b>平成</b> 滑な高等	26年度に耶	<b>対組むべ</b> ために教	<b>き具体的な</b> 育環境の整備			り組む	とともに	、本校の特	性

評価対象	年度	平成 2	24年度	事務	事業	評	価 表	<一般用>	>				様式1
事務事		778	174 事 務	国分中央	1高校活1	生化事	業			坦	当		教育部
⊐-	۲	,	<sup>1/4</sup> 事業名			T 10 7	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		-	坦	当	課	国分中央高校
政策:	名	4	育み磨きあう	まちづくり					•	ゲ	ルー	- プ	管理G
施策	名	1	学校教育の	充実					Í	電	話番	号	46-1535
基本事	業名	7	高等学校教	育の推進					I	内	線番	号	
	会計	一角	2会計				± **	□ 単年度の	のみ				
予	款	10	教育費				事業 期間	■ 単年度	繰返(開始年	度		24	<b>年度~</b> )
予 算 科 目	項	4	高等学校費				WILL	□ 期間限:	定複数年度(			~	• )
目	目	1	高等学校総	<b>務費</b>		:	根拠法令•						
	コード	778	174				条例等						
関連計	一画												
1. 現状批	巴握	(1)事	務事業の目的	と指標 <	(Do>								
① ∓ R	┗ /审3	次市 坐 /	の概画)						平月	₹24	1年度	実績	Į.

1) 十一位(事份事業の概务	1)	手	段	(事務事業の概要
----------------	----	---	---	----------

生徒の基礎学力の向上に務めるとともに、時代の流れや地域の要請に応える魅力ある専門高校づくりに取り組んでいる。この事業は、農業・家庭・商業・体育の専門学科や部活動の環境(外部指導 者の導入・指導教員の技術力向上・生徒の進路先の開拓・新入学生の確保・備品設備等の充実・ 大会補助等)を充実することを目的とする。

また、指定宿舎を公募し遠方から入学する生徒が安心・安全な学校生活を送ることができるように舎 監を配置し、各専門学科や部活動等の周辺環境を充実させる。卒業時の進路については、生徒が これらのなかで習得した「社会に寄与する資質や技能などの専門性」を身につけることで、専門学 科に関係のある企業や大学・専門学校等に進学できるように努める。

事務事業の概要のとおり

# 平成25年度計画

活

動

事務事業の概要のとおり

2	<b>活動指標</b> (事務事業の活動量)		単位	23年度 (実績)	24年度 (実績)	25年度 (見込)	26年度 (見込)
ア	部活動に加入している生徒の割合		%	80.1	75.3	76.0	77.0
1							
ゥ							
3	<b>対 象</b> (誰、何を 対象にしているのか)	<ul><li>④ 対象指標 (③対象の大きさを 表す指標)</li></ul>	単位	23年度 (実績)	24年度 (実績)	25年度 (見込)	26年度 (見込)
ア	国分中央高校の生徒	全生徒数	人	870	846	815	827
1							
ゥ							
(5)	<b>意図</b> (対象を どうしたいのか)	<b>⑥ 成果指標</b> (⑤意図の 達成度を表す指標)	単位	23年度 (実績)	24年度 (実績)	25年度 (見込)	26年度 (見込)
ア	九州大会に出場する。	九州大会出場回数	口	4	10	11	12
イ	全国大会に出場する。	全国大会出場回数	口	1	6	6	6
ゥ							
Ø	<b>結果</b> (どんな結果に 結び付けるのか)	<b>⑧ 上位成果指標</b> (⑦結果の達成度 を表す指標)	単位	23年度 (実績)	24年度 (実績)	25年度 (見込)	26年度 (見込)
ア	卒業時の生徒の進路が決まる	就職·進学率	%	98.6	97.0	***	***
1							
(2	事業費	単位:千円 (3)事務事業の環境変化・住	民意見等				

#### 24年度 25年度 (決算) (予算) 当初予算額 6,753 10,836

算 2,125 補 正 予 額 算 合 8,878 10,836

国庫補助金 0 県 支 出 0 金 地 債 0 方 算 そ の 他 0 額 財 般 源 7,849 出 合 7,849

# 単位:千円 (3)事務事業の環境変化・住民意見等

この事務事業は、いつ頃、どのような きっかけで開始されたのか?

平成23年度に新設学科「スポーツ健康科・ビ ジネス情報科」を開設した。特に「スポーツ健康 科」を開設したことにより、部活動が活発化し、 県大会以上の大会出場が増えたことにより、部出場が増えた。 活動の支援を行った。

③ この事務事業に対して誰からどんな意 見や要望が寄せられているか?

保護者及び教職員等から大会出場費や設備・ 特になし 施設面での支援を求められている。

#### 事務事業を取り巻く環境は、開始時期又 は5年前と比べてどう変わったのか?

平成23年度に新設学科「スポーツ健康科・ビジネス 情報科」を開設した。特に「スポーツ健康科」を開設し たことにより、部活動が活発化し、県大会以上の大会

この事務事業に対する議会から出された 意見

	8事業	778174	事務国分中	——————— 央高校活性化事業			担当部	
	ード	,,,,,,	争未石				担当課	
		w.u		度(決算)		5年度(当初予算)		26年度(見込)
-	±ρ	単位:千円	単独	前 合計	単独	補助 合計	単独	補助合計
1	報給	西州 出						
2		<u>料</u> . 手 当 等						
3		<u>于 ヨ 寺</u> 済 費						
7	<del></del> 賃	<u></u>						
8	 報		938	938	940	Q	40 940	940
9	 旅	<sup>.</sup>	67	67	1,500	1,5		1,600
10	交		01	01	1,000	1,0	1,000	1,000
11	<u>〜〜</u> 需				60		60 60	60
l ''		耗品費			60		60 60	60
	燃	料費						
	食	料費						
		刷製本費						
	光	熱水費						
	修	繕 料						
12	役	務 費			54		54 54	54
	通	信運搬費			54		54 54	54
	広	告 料						
	手	数料						
	保	険 料						
13	委	託 料			2,328	2,3	28	
14		及び賃借料			454	4	54	
15		請負費						
16		材料費						
17		財産購入費						
18		購入費	4,200	4,200	1,450	1,4		500
19		補助·交付金	2,644	2,644	4,050	4,0	50 4,100	4,100
20	<u>扶</u> 貸	<u>助 費</u> 付 金						
21		 填及び賠償金						
23		<sup>呉及ひ</sup> 問員並 :利子・割引料						
24		及び出資金						
25	積	<u>立 金</u>						
26	寄	 附 金						
27	公	課 費						
28	繰	出 金						
		計	7,849	7,849	10,836	10,8	36 7,254	7,254
		玉						
		県						
	地	方 債						
財	辺	地債						
源中	過							
内訳	台	併特例債						
ω·	7-	<b>⊕</b> 11L						
	そ - +	の 他 <sub>役</sub> 財源	7,849	7,849	10,836	10,8	36 7,254	7,254
	7	in M M 計	7,849	7,849	10,836	10,8		7,254
	h = · · ·	国	1,010	1,010	10,000	10,0	1,201	1,201
<sup>*</sup>	甫助率	<u>□</u> 県						
補	助	基本額						
平	当	切 予 算		6,753 千円		平成 24 年度 財派	京内訳の「その作	也」の内訳
成		<del>z z z z z</del> E 予 算		2,125 千円				
	第 1		第5					
24	第2		第6		2,125	参加費等の事業実	施のための収ん	入説明
年	第3		第7					
度	第4		第 8	3 🗆				
	予!	第 合 計		8,878 千円				
					日ナ 教 シュー			/_飢田>

	务事業 ロード	778174	事 務 事業名	国分中央	高校活性	化事業									教育部 国分中央高 <sup>漳</sup>	校
2		部 <see></see>				評価						評	価理	由		
А	・この (基)	本シートの結り	目的は基本事 果) に結びつく	業の意図 か?	<ul><li>■ 結びつ</li><li>□ 見直す</li></ul>	いている 必要が	-	専門性豊結びつく。		な人材	か育	成に。	より、生	生衫	走の適性に応し	ごた進路に
目的妥当	・このか	??	<b>当性</b> 市が行わなけ; 、達成する目自		■ 妥当で		ある	国分中央ては市が						あり	、生徒の学校	教育につい
性評価	③ <b>対</b> 象	℟•意図の妥				見直す	必要がある 必要がある	霧島市立	と 高	校を対	け象に	こしたも	っので	<b>、</b> 通	適切である。	
	4 成身	の向上余地	也		□ 応日と											
В	上さ	せることができ				こ成果か	(出ている)	平成24年 地がある。		から開	開始し	た事	業であ	59.	、成果について	ては向上余
有効性	·事		<b>果への影響</b> 又は休止した か?		■ 影響カ □ 影響カ			魅力ある <sup>I</sup> とはできな			づくり	)を目	指して	てお	り、廃止及び位	木止をするこ
評価			<b>死房・連携</b> ためには、こ0		■他に手	段がない	۸,			(1	他に	手段が	ぶある	場	合の事務事業	名等)
	外の ・類( り成	)手段はないか 似事業との統 果の向上が期	n? 廃合や連携を 月待できるか?			段があ. 含できな 合できる	い 🗌 連携	できない できる								
C 効	•成:		<b>余地</b> 事業費を削減 その適正化、住		■ 削減余	地がない		平成24年の経費で				/事業	に取り	り組	lんでおり、必ら	要最低限度
率性評価	・や! 間を ・成	り方を工夫して :削減できない	<b>務時間)の</b> で事務事業にかか? 職員以外の対	系る業務時	■削減余□削減余			最小限の	0人.	員で取	なり組ん	んでお	らり、肖	削海	<b>杖余地はない</b> 。	
D公平性評価	·事 不公	業の内容が一 や平ではないか	<b>負担の適正</b> 部の受益者に い? :平公正になっ	に偏っていて	■ 公平・			国分中央ており、受							事業で高校教	対育を実施し
	(1)18	文評価者(課	長)としての	評価結果		(2)全·	体総括(振	り返り、反	反省	í点)						
総括	B 有	的妥当性    効性   率性	<ul><li>■ 適切</li><li>□ 適切</li><li>■ 適切</li></ul>		必要がある 必要がある 必要がある	等の購 国大会	入など、部	舌動の環境 ・増えた。ま	竟の また	充実に	こ努め	った結	果、個	本官	畳・陸上競技( 『系部活動は』 が全国大会に	1州大会・全
	D 公	平性	適切	□ 見直す必	必要がある	C 1 1X		6,7 6,0								
		方向性 <pl< th=""><th></th><th>.,</th><th><u> </u></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th>_</th><th></th><th></th></pl<>		.,	<u> </u>									_		
(1)	<b>評価結</b> □ 廃止		今後の方向	<b>性</b>  当性①②、有	**************************************	- HI ]	(2)廃止3	ては休止す	すへ	べきと	した	場合の	の理	由		
	<ul><li>□ 休止</li><li>□ 休止</li><li>□ 事有效</li><li>□ □ 公平</li></ul>		[目的妥 [目 [有 <b>【向上</b> ) [有 <b>卜削減</b> ) [効	当性①②、有 当性①②、有 的妥当性①③ 効性⑥の結果 効性④の結果 率性⑦⑧の結果 平性⑨の結果	効性⑤の結果] の結果] - - - - - - - - - - - - - - - - - - -											
	+x1/	ハ中田 147、中陸 4万円														
・競・を動の図や	平成25: 交を活性 力の舎に 力宿舎に の周明時 の生徒が に生徒が に生徒が になどの	化するために 上を図り、九州 遠方から入学 できるように寮 環境を充実させ をの補助を行い これらのなかい )専門性」を身	み概要及び 、外部指導講 、大会以上はが多 にする生徒がを 監を置くなど、 とさる、また、指 いで習得した「社 につけること	(1)のチェック 期待される変 師の活用などでは、 なら、本のでは、 ないでは、 ないでは、 ないでは、 を定済のは、 でいる。 でい。 でいる。 でい。	生徒の・学 ・学 ・学 ・学 ・学 ・学 ・学 ・学 ・学 ・学	<ul><li>平成: 校を活り を行う。</li><li>定宿舎に を置くなる</li></ul>	<b>26年度に</b> 取 生化するため ご遠方から入	<b>なり組むべ</b> かに、体育系 学する生徒 学科や部活	<b>ヾき</b> 系・ 徒動	<b>具体</b> 的 文化系 ・安心・ 等の周	系の音 ·安全 ]辺環	『活動な学 境を	校生》 充実さ	舌を	て九州大会以_ ご送ることができる。また、指定 経滅を図る。	・ きるように寮

1次評価シート <一般用>

事務事業	770174	事 務	<b>国八九九京技活性从事</b> 类	担	当	部 教育部
コード	778174	事業名	国分中央高校活性化事業	担	当	課国分中央高校

4. 2次評価

① 記:	述水準 (1次評価の記述内容を読んだ段階 □ 記述不足で分かりにくい		
		で選択) ② 評価の各観性水準(2次)	評価を行った後に総合的に判断して選択)
		□ 客観性を欠いており記	
	□ 一部記述不足のところがある		題点、課題が認識されていない)
	■ 十分に記述されている	<ul><li>□ 一部に客観性を欠いる</li><li>■ 客観的な評価となって</li></ul>	
(2) 2次	?評価	1次評価	2次評価
A	Ι	■ 結びついている	■ 結びついている
	① 政策体系との整合性	□見直す必要がある	□ 見直す必要がある
目	 ② 公共関与の妥当性	■ 妥当である	■ 妥当である
的 妥		見直す必要がある	□見直す必要がある
当	  ③ 対象・意図の妥当性	■ 適切である □ 対象を見直す必要がある	<ul><li>■ 適切である</li><li>□ 対象を見直す必要がある</li></ul>
性	⑤ 对象 - 息色の安当日 	□ 対象を見直す必要がある	□ 対象を見直す必要がある
		□向上余地はない	□ 向上余地はない
	④ 成果の向上余地	(十分に成果が出ている)	(十分に成果が出ている)
В		■ 向上余地がある	■ 向上余地がある
	⑤ 廃止・休止の成果への影響	■影響がある	■ 影響がある
有	○ 1/0 m FI m v/ 190 m · v/ 3/ m	□影響がない	□ 影響がない
効 性	│	<ul><li>■ 他に手段がない</li><li>□ 他に手段がある</li></ul>	■他に手段がない
I.T.	⑥ 類似争未との  ⑥ 統廃合・連携の可能性	□ 他に手段がめる □ 旅合できない □ 連携できない	□ 他に手段がある □ 統合できない □ 連携できない
		□ 統合できる □ 連携できる	□ 統合できる □ 連携できる
С	⑦ 古世典 <b>の</b> 判述会址	■削減余地がない	■削減余地がない
効	⑦ 事業費の削減余地	□∥減余地がある	□ 削減余地がある
率	(8) 人件費(延べ業務時間)の	■削減余地がない	■削減余地がない
性	削減余地	□削減余地がある	□削減余地がある
D 公平性	9 受益機会・費用負担の 適正化余地	<ul><li>■ 公平・公正である</li><li>□ 見直す必要がある</li></ul>	□ 日本古公正である
ムナほ			□見直す必要がある
200	A 目的妥当性 B 有効性	■ 適切       □ 見直す必要がある         □ 適切       ■ 見直す必要がある	■ 適切       □ 見直す必要がある         □ 直切       ■ 見直す必要がある
総 括	C 効率性	□ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	
10	D 公平性	■ 適切 □ 兄直, 必安かめる □ 見直す必要がある	■ 適切 □ 兄直り必要がある
(0) 01		<u> </u>	
A目的	妥当性		
A目的 B有効 C効率	性 スポーツ健康科・ビジネス情報和	斗の完成年度に当たり、益々の活躍が期待でき	、成果向上が図られる。
B 有効	性 スポーツ健康科・ビジネス情報を	<b>斗の完成年度に当たり、益々の活躍が期待でき</b>	、成果向上が図られる。
B 有効 C 効率 D 公平	性 スポーツ健康科・ビジネス情報を	科の完成年度に当たり、益々の活躍が期待でき 1 次 評 価	、成果向上が図られる。
B 有効 C 効率 D 公平	性 スポーツ健康科・ビジネス情報和性性性性	1 次 評 価 □ 廃止	
B 有効 C 効率 D 公平	性 スポーツ健康科・ビジネス情報和性性性性	1 次 評 価 □ 廃止 □ 休止	2 次 評 価 □ 廃止 □ 休止
B 有効 C 効率 D 公平	性 スポーツ健康科・ビジネス情報和性性 性性	1 次 評 価	2 次 評 価  □ 廃止 □ 休止 □ 目的再設定
B 有効 C 効率 D 公平	性 スポーツ健康科・ビジネス情報和 性性	1 次 評 価	2 次 評 価  □ 廃止 □ 休止 □ 目的再設定 □ 事業統合・連携
B 有効 C 効率 D 公平	性 スポーツ健康科・ビジネス情報和 性性	1 次 評 価  □ 廃止 □ 休止 □ 目的再設定 □ 事業統合・連携 ■ 有効性改善(成果向上)	2 次 評 価  □ 廃止 □ 休止 □ 目的再設定 □ 事業統合・連携 ■ 有効性改善(成果向上)
B 有効 C 効率 D 公平	性 スポーツ健康科・ビジネス情報和性性性性性性性性	1 次 評 価	2 次 評 価  □ 廃止 □ 休止 □ 目的再設定 □ 事業統合・連携 ■ 有効性改善(成果向上) □ 効率性改善(コスト削減)
B 有効 C 効率 D 公平	性 スポーツ健康科・ビジネス情報和 性性	1 次 評 価	2 次 評 価  □ 廃止 □ 休止 □ 目的再設定 □ 事業統合・連携 ■ 有効性改善(成果向上) □ 効率性改善(コスト削減) □ 公平性改善
B 有効 C 効率 D 公平	性 スポーツ健康科・ビジネス情報和性性 性性 性性 性	1 次 評 価  □ 廃止 □ 休止 □ 目的再設定 □ 事業統合・連携 ■ 有効性改善(成果向上) □ 効率性改善(コスト削減) □ 公平性改善 □ 現状維持・継続	2 次 評 価
B 有効 C 効率 D 公平 (4) 評価	性 スポーツ健康科・ビジネス情報和性性 スポーツ健康科・ビジネス情報和性性	1 次 評 価  □ 廃止 □ 休止 □ 目的再設定 □ 事業統合・連携 ■ 有効性改善(成果向上) □ 効率性改善(コスト削減) □ 公平性改善 □ 現状維持・継続    同に対し、具体的にどのように取り組むのか	2 次 評 価
B 有効 C 効率 D 公平 (4) 評価	性 スポーツ健康科・ビジネス情報和性性 性性 性性 性	1 次 評 価  □ 廃止 □ 休止 □ 目的再設定 □ 事業統合・連携 ■ 有効性改善(成果向上) □ 効率性改善(元スト削減) □ 公平性改善 □ 現状維持・継続 ■ 目に対し、具体的にどのように取り組むのか ほ 具体的な内容 ② 2次評	2 次 評 価

2次評価シート

評価对象	年度	平成 2	24年度		<u> </u>		第二 第二	<u> </u>	<b>山</b> 衣	<u> </u>	<u>一般用&gt;</u>				i	様式1
事務事		779	170		国公山	1 本 宣	<b>松武聯</b>	<b>支</b> 控制	員配置事	丵		担	当		教育部	
<del>Т</del>	1,	770		業名	四刀日	一人同	化工业工业	又 [反]	只比但于	*		担	当	課	国分中央高校	, 21
政策:	名	4	育み関	磨きあう	まちづくり	)						グ	`ル -	ープ	管理G	
施策	名	1	学校教	教育のヨ	充実							電	話者	番号	46-1535	
基本事	業名	7	高等等	学校教育	育の推進							内	線	番号		
	会計	一角	2会計						<del></del>		□ 単年度のみ					
予	款	10	教育費	費					事業 期間		□ 単年度繰返 (開	始年原	茰		年度~)	
予 算 科 目	項	4	高等	学校費					2411b1		■ 期間限定複数年	度(	H2	l ~	H25 )	
目	目	1	高等等	学校総務	<b>务費</b>			柤	艮拠法令・		<u> </u>					
	П Т,	778	170						条例等							
関連計	画															
1 租垛#	場場	(1) 建	[	の目的	レ指揮	< Dc	<u> </u>									

	异 科	項	4	高等学	校費		2411E1	■期間阻	定複	数年度(	H21 ~	H25	)
	目	目	1		校総務費		根拠法令・	_ <del></del>					
	00.4	コード	778	8170			条例等						
	関連		/										
_	現状				目的と指標	<do></do>				亚战?	4年度実績	E	
_		段(事								一 一 八 乙	可干皮天框	4	
め、 とと <三	就職を	支援員を E徒・保護 務内容>	配置す 者の近 >	「る。就職支 生路相談や京	援員は、企業 就職情報の提	)開拓や新規高卒者の の求人情報を収集し 供等教職員の進路指	新規求人企業	の開拓を行う	主な	事務事業の	概要のとお	ŋ	
				乗種寺に使り 対して企業↑	ハ求人(就職タ 青報の提供	七)開拍			活	平成2	!5年度計画	Ī	
授					格指導における	る教員の補助			動	事務事業の	概要のとお	ŋ	
													00 T II
2	活動	指標(	事務事	業の活動量	<u>t</u> )			単位		23年度 (実績)	24年度 (実績)	25年度 (見込)	26年度 (見込)
ア	企業	訪問回数	(					口		52	50	55	
1	進路	相談等の	延べり	人数				人		453	394	400	
ウ		,	, ,			(0.115				00/===	0.4/5	0.5 <i>f</i> = <del></del>	00/= ==
3	対		i、何を 象にし	: ているのか]	④ 対象:	<b>指標</b> (③対象の) 表	大きさを ・す指標)	単位		23年度 (実績)	24年度 (実績)	25年度 (見込)	26年度 (見込)
ア	国分	中央高校	の生徒	ŧ	3学年の生	:徒		人		278	302	268	
1													
ウ													
<b>5</b>	意	図 (対	†象を どう	したいのか)	⑥ 成果	<b>指標</b> (⑤意図の 達成度を	を表す指標)	単位		23年度 (実績)	24年度 (実績)	25年度 (見込)	26年度 (見込)
ア	専門'	性豊かな	人材に	で育つ	資格取得数	<b>数</b>		人		866	752	760	
1													
ゥ													
7	結	果 <sup>(ど</sup>	んな結 結び(	吉果に 寸けるのか)	⑧ 上位月	<b>ず果指標</b> (⑦結) を表	果の達成度 表す指標)	単位		23年度 (実績)	24年度 (実績)	25年度 (見込)	26年度 (見込)
ア	卒業	時の生徒	の進品	各が決まる	就職•進学	率		%		98.6	97.0	***	***
1													
(2	)事業	費			単位∶千円	(3)事務事業の環							
				24年度 (決算)	25年度 (予算)	① この事務事業に きっかけで開始	ま、いつ頃、d されたのか	どのような ?		事務事業を は5年前と			
予	-	刀予 算	_	1,356	1,356	平成20年度の進路 未定率が15%である	5なか、平成21	年度県の緊		企業の求人 担当者との連			
算額			算	0	1.050	急雇用創出事業臨時 け、開始する。	持特例基金の	補助金を受	情報を	火収集できた。			
	ア .	算 合	āΤ	1,356	1,356								
		車補 助		0		③ この事務事業に 見や要望が寄る	こ対して誰か	らどんな意		この事務事 意見	業に対する	る議会から	出された
決	県 :		金債	0		保護者から企業名を				<b>思兄</b> 1年3月議会	で、進路の	状況(学科ご	どに就職・
算額	地そ	の	他	0		が来るようにしてほし れている。		望が寄せら		∞校・大学・短			
		般財	源	1,307									
	支	出合	計	1,307									

	予 チャップ・ディップ・ディップ・ディップ・ディング ディスティング ラスティスティス かんしょう かいま	778170	事業名	分中央高校	就職支援員酉	记置事業			担当課	教育部 国分中央	□高校
	•		7. 24. 1				年度 (当初	コマ 笛 \		26年度(身	
		単位:千円	単独	24年度 ( <mark>没</mark> 補助	合計	単独	<u>中段 (ヨヤ</u> 補助	カア <i>昇)</i> 合計	単独	<b>(20年度(5</b> 補助	合計
1	報	<u> </u>	<b>平</b> 供	1	百百	<b>平</b>	補助	百百	<b>平</b> 供	補助	百百
2	 給										
		 . 手 当 等									
3	<u></u>	<u>. 于 ョ 寺</u> . 済   費									
4	_ <u>共</u> 賃		1 000		1.000	1 000		1.000			
7		金	1,296		1,296	1,296		1,296			
8	報	賞 費	1.1		1.1	60					
9	旅	費	11		11	60		60			
10	交	際費									
11	需	用費									
	消	耗品費									
	燃	料費									
	食	料費									
		刷製本費									
		熱水費									
	修	繕 料									
1.0	ζД.	75									
12	役	務費									
		信運搬費									
	広	告 料									
	手	数料									
	保	険 料									
13	委	託 料									
14		科及び賃借料									
15		請負費									
16		材 料 費									
17		財産購入費									
18		」購入費									
19		:補助•交付金									
20	扶	助費									
21	貸	付 金									
22		填及び賠償金									
23		:利子•割引料									
24		及び出資金									
25	積	立 金									
26	寄	附 金									
27	公	課費									
28	繰	出 金									
		計	1,307		1,307	1,356		1,356			
		围									
		県									
	地	方 債									
財	辺	地 債									
源	過	疎 債									
内訳	合	併特例債									
八											
	そ	の 他									
	— f	投 財源	1,307		1,307	1,356		1,356			
		計 	1,307		1,307	1,356		1,356			
*	甫助率	国									
		県									
補	助	基本額									
平	当	初 予 算		1,3	356 千円		平成 24 年	F度 財源内	訳の「その他	也」の内訳	
成	補	正 予 算									
24	第1	□		第5回							
24	第2	□		第6回			参加費等	の事業実施の	のための収え	入説明	
年	第3	回		第7回							
度	第4	回		第8回							
	予 4	算 合 計			1,356 千円						

	务事業 一ド	778170	事 務 事業名	国分中央	高校就職	支援員	配置事業					<u>担</u> 担	当当			<u>教育部</u> 国分中央	高校	
2		ポ <see></see>				評価						評	平価:	理由	1			
А	・こ <i>0</i> (基:	<b>体系との数</b> )事務事業の 本シートの結り	目的は基本事 果) に結びつ<	手業の意図 (か?	<ul><li>■ 結びつ</li><li>□ 見直す</li></ul>	いてい 必要が	_	就職支援の適性に										
目的妥当	・このか	<b>♥関与の妥繁</b> ○事業をなぜī ・? 金を投入して、	市が行わなけ		■ 妥当で		ある	国分中央ては市が							り、	生徒の	学校教育	につい
性		・意図の妥		10/0 - 1	適切で	ある												
評価	· <b>対</b> 』	象や意図を限	定又は追加っ	すべきか?			必要がある 必要がある	霧島市立	左高	校の	生徒	を対象	見にし	したも	<b>Б</b> σ.	つで、適り	刀である。	
	4 成界	の向上余地	也			. 1.16 1.46												
В	上さ	果指標の現状 せることができ	きるか?		■ 向上命 (十分)	こ成果な	が出ている)	資格取得 る。	导数に	は、生	上徒の	)数に	応じ	た数	汝て	で推移して	ているとこ	ろであ
有	(5) 廃山	Ł·休止の成	果への影響	ř	□ 影響が	:+ 7												
効性評	ようた	務事業を廃止 な影響があるな	97 ?		■影響が			支援員の	)ノウ	·								
価		以事業との舒			■ 他に手	段がな	い			(	(他に	手段	があ	る場	計合	の事務	事業名等)	)
	外の ・類( り成	的を達成する。 手段はないか 以事業との統 果の向上が期	n? 廃合や連携を 別待できるか?	と図ることによ		段があ 合できな 合できる	い □ 連携	できない できる										
C 効	•成	<b>養の削減</b> 発 果を下げずに (仕様や工法	事業費を削減		□ 削減余 ■ 削減余			平成25年	年度	で終	·了予	定では	ある。					
率		‡費(延べ業	務時間)の	削減余地														
· 性 評 価	・やり 間を ・成り でき	)方を工夫して 削減できない 果を下げずに ないか?	て事務事業にか? 職員以外の対	係る業務時 対応や委託を	■削減余□削減余		賃金及び旅費の支払い事務のみであり、削減余地はない									, <b>\</b> °		
D 公	9 受益	機会・費用	負担の適正	化余地			_											
平性評価	不公	業の内容が一 やではないか と と と と され と され と と と と と と と と と と と と	17 ?		■ 公平・	必要が	ある	国分中央ており、受	受益	の機	会は					事業で高	校教育を	実施し
	(1)18	マ評価者(課	長)としての	評価結果		(2)全	体総括(振	り返り、反	反省	(点)								
総	A目	的妥当性	■ 適切	□ 見直す必	必要がある													
	B 有	効性	■ 適切	□ 見直す必	必要がある		のノウハウを								5年	三度を以 つ	て事業を終	冬了し
括	C 效	]率性	□ 適切	■ 見直す必	必要がある	ても生	徒の就職支	援は教員が	が行	うたと	め、問	問題は	ない	, ,				
	D 公	平性	適切	□ 見直す必	必要がある													
3 =	今後のフ	方向性 <pl< th=""><th>AN&gt;</th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th></pl<>	AN>															
(1)		果にもとづく		-			(2)廃止3	ては休止す	す^	くきと	とした	場合	<b>つ</b>	理由	1			
	廃止			· 当性①②、有														
			2,		,,	果」	平成21年原	- 세대고는 즉, 소국	·士+	∝旦 ≠	ᆕ	ደነ ታ	红+11-	<del></del>	+	光記の目	圆针 ♪	<b>-</b>
	□目的□車業	J冉設定 統合•連携	= -	的妥当性①③ 効性⑥の結果			平成21年度											
		:机口·连拐 ]性改善(成果		効性④の結果 ・効性④の結果	=		向上が図られてきているなか、進路担当教員も就職指導員から得る 吸収し、進路決定に向けて、いろいろな方策を講じてきており、積板											
		」に改合、次本 「性改善(コス		- ※性の8の結	=		吸収し、進 き始めてき/		リげ	٠(, ١	らい	<b>い</b> ろな,	力束	を講	;U	てきてお	り、積極的	小に期
	□公平			:平性⑨の結果	· · · -													
	□ 現状	<b>維持・継続</b>																
	_	<u> </u>																
		な改善計画		(1)のチェック														
新設と海門を通	学科の近 が連携し 学校なと	生路指導の充 、学科の特性 で開拓を行う まの適性に応	実を図る。進版を生かした就 を生かした就 る。進路講話や	<b>期待される変</b> 路指導教諭と <sup>3</sup> 職先や4年生 ▷進路ガイダン 淳を行いキャリフ	学科教 大学・ スなど	)平成	26年度に取	双り組むべ	くき	具体	がある	<b>文</b> 内容						

評価対象	年度	平成 2	24年度	事務	事業	評	価 表	<一般用	>				様式1
事務事コー		778: 778:	212 事 務		<b>决</b> 高校設			*********		担			教育部 国分中央高等高校
政策	名	4	育み磨きあう	まちづくり						5	゛ルー	- プ	管理グループ
施策	名	1	学校教育の	充実						電	話番	号	46-1535
基本事	業名	7	高等学校教	育の推進						Þ	線番	号	
	会計	一角	2会計				<del></del>	□ 単年度	のみ				
予	款	10	教育費				事業 期間	■ 単年度	繰返	(開始年	叓	S	30 年度~)
算 科 目	項	4	高等学校費				.∆11⊨1	□ 期間限	定複数	数年度(		~	)
目	目	1	高等学校総	<b></b> 務費			根拠法令•						
	コード	778	311				条例等						
関連計	画												
1. 現状报	握	(1)事	務事業の目的	と指標・	<do></do>								
①手段	/ (車を	タ重業の	の概要)							平成	24年度	実績	
国分中央高ツ健康科」 くりを目指す 授業を行っ 設し、従来子前取引の	高校は、 の学科; す。特に っている。 の「総合 の講義を	「園芸」 がある。 各学科。平成2 3実践」	工学科」「生活文化 これらの特性を生いの特性を生いのり組みにパいるの授業にパックントントンという。 の授業にパックントントンの、5年に一度 時代のニーズに	Eかした確か ソコンを利用 業科」と「情 での充実を加 パソコンを リ	な学力のなした専門を とないます」 なた。また であること	定着に 計量が を が合い で、 は で、 は	努め、魅力ある あり、学科のや し、「ビジネス 24年度から誤 こ徒が最新の作	る専門高校づ 作性を生かした 情報科」を開 題研究に電 青報処理機器		パソコンリ ワープロ! 備品購入 <mark>平成</mark>	定保守委	<b>美託</b>	<u> </u>

パソコンリース更新

866

752

することで、教育環境の整備を図る。

財 般

出 合 源

16,514

16,514

#### ・ワープロ室保守委託 •備品購入 25年度 26年度 23年度 24年度 ② 活動指標(事務事業の活動量) 単位 (実績) (実績) (見込) (見込) 資格取得試験検定回数 49 50 50 50 口 23年度 24年度 25年度 26年度 (③対象の大きさを (誰、何を ④ 対象指標 ③ 対 象 単位 対象にしているのか) (実績) (実績) (見込) (見込) 国分中央高校の生徒 生徒数 人 870 815 827 846 24年度 25年度 26年度 23年度 (⑤意図の ⑤ 意 図 ⑥ 成果指標 単位 どうしたいのか) 達成度を表す指標) (実績) (実績) (見込) (見込) 進路について真剣に考え、模試や資格取得等積極的に取 進路決定に役立つ学習をする % 85 85 86 86 9組んでいる」と回答した生徒の割合 24年度 (どんな結果に (⑦結果の達成度 23年度 25年度 26年度 ⑦ 結 果 ⑧ 上位成果指標 単位 (実績) 結び付けるのか) を表す指標) (実績) (見込) (見込) 心身ともに充実した高校生活が出 来るようになる 就職•進学率 % 98.6 97.0 \*\*\* 専門性豊かな人材に育つ 高度資格取得者数

(3)事務事業の環境変化・住民意見等 (2)事業費 単位:千円 事務事業を取り巻く環境は、開始時期又 この事務事業は、いつ頃、どのような 24年度 25年度 きっかけで開始されたのか? は5年前と比べてどう変わったのか? (決算) (予算) 学校設立から備品の充足に努めているが、特 に昭和60年からパソコンを設置するなど年次 専門高校として平成23年度に「商業科と「情報会計 当初予算額 16,581 14,895 科」を統合し「ビジネス情報科」を開設するなど時代に 算 補正及び流用 的にパソコンを整備するなか、平成4年度から 即した学科再編を行い、パソコン環境の充実を進め はパソコンをリースで導入し、5年ごとに更新し ている。 額 算 合 14,895 16,581 ている。 ④ この事務事業に対する議会から出された 国庫補助金 0 ③ この事務事業に対して誰からどんな意 見や要望が寄せられているか? 意見 県 支 出 0 金 教員等からパソコンリース更新時に、授業に対 特になし 地 債 0 方 応した最新のパソコン機能の導入を要望されて 算 いる。 そ の 他 0 額

	8事業	778212 778311	事 務事業名	国公山中国	高校設備整備事業	<del></del>			担 当 部	
⊐	ード	770011	事業名	国カヤスト	可及政備走備予	* 			担 当 課	国分中央高等高校
				成24年度			5年度 (当初			26年度(見込)
		単位:千円	単独	補助	合計	単独	補助	合計	単独	補助 合計
1	報	楓								
2	給	料工业等								
3	職 員 共	1 手 当 等 済 費								
7	<del></del> 賃	<u></u>								
8	<u>貝</u> 報									
9	 旅	費								
10	交									
11	需	用 費								
	消	耗 品 費								
	燃	料 費								
	食									
		刷製本費								
		熱水費								
	修	繕 料								
12	役	 務 費								
12										
	広	告料								
	手	数料								
	保									
13	委	託 料	19	90	190	327		327	228	228
14		料及び賃借料	14,72	25	14,725	13,708		13,708	14,753	14,753
15		請負費								
16		材料費								
17		財産購入費								
18		購入費	1,59	99	1,599	860		860	1,400	1,400
19	<sub>貝担金</sub> 扶	:補助·交付金 助 費								
21	_ <del>顶</del> 貸									
22		填及び賠償金								
23		利子•割引料								
24	投資	及び出資金								
25	積	立 金								
26	寄	附 金								
27	公	課費								
28	繰	出 金	10 51	1.4	10.514	14.005		14.005	10.001	10.001
		国	16,51	14	16,514	14,895		14,895	16,381	16,381
		<u>=</u> - 県								
	地	<u></u> 方 債								
B→	辺									
財源	過	疎 債								
内訳	合	併特例債								
加										
	そ	の他								
	<u> </u>	般 財源	16,51		16,514	14,895		14,895	16,381	16,381
		計	16,51	14	16,514	14,895		14,895	16,381	16,381
衤	甫助率	里 県	1							
補	助	基本額								
		初 予 算			16,581 千円		平成 24 年	F度 財源内	訳の「その他	リの内訳
平成		及び流用			7± 1 1 ₹	<del></del>	. // - ! -	~ NIMP()		· · · · · · · · · · · · · · · · · ·
	第 1			第5回	]					
24	第2			第6回			参加費等	の事業実施の	のための収え	<mark>説明</mark>
年	第3			第7回						
度	第4			流用		]				
	予 :	算 合 計			16,581 千円					
						日ナ3女ミュ_				/_ 伽田 \

	務事業 コード	778212 778311	事 務 事業名	国分中央	高校設備	整備事業				<u>担</u> 担	当	部課				<b>央高</b> 等	宇高村	交
2	評価の部	『 <see></see>				評価				評	平価項	理由	1					
А	•=0	を体系との整 の事務事業の	<b>合性</b> 目的は基本事 果) に結びつく	業の意図		いている ↑必要がある	高度資格 豊かな人 職進学率	、材の	育成や	充実し	た高	校生	生活					
目的妥	② 公共	<b>関与の妥当</b> )事業をなぜī			■ 妥当で	きある	国分中央では、市場	き高校	は、霧	島市立	二高校	をでま		)生	<del></del>	学校	教育に	こつい
当 性	•税:		、達成する目的 <b>当性</b>	勺か?	□ 見直す - <u>- </u> - 適切て	「必要がある  ごある	Ciacilly	W. <del>J.</del> A	KCII)	/ 公安 //	7.00.0	-						
評価			定又は追加す	<sup>ト</sup> べきか?		-見直す必要がある -見直す必要がある	霧島市立	Z高校	の生徒	を対象	見とし	たも	の	です	<b>あり、</b>	適切	である	'o
В	・成: 上さ	せることができ	は値をあるべき きるか?		(十分	<地はない に成果が出ている)	備品関係まだ十分の				劣化	:等て	で何	吏用	でき	ないも	っのも	あり、
有効性	·事		<b>果への影響</b> 又は休止した か?		■ 影響か		設備を整	を備する	ることは	は、市立	乙高校	交にと	يرط	って	必須	条件	である	) <sub>0</sub>
評価	•目	的を達成する	<b>で廃合・連携</b> ためには、この			段がない			(他)	に手段	があ	る場	合	<b>か</b>	事務	事業	名等)	
	・類( り成	果の向上が期	廃合や連携を 目待できるか?	図ることによ	□ 統		できない できる											
C 効	・成: か? ど)	(仕様や工法	事業費を削減 の適正化、住	民の協力な		≷地がない ≷地がある	経年劣化できない。		よる設(	備の老	朽化	だがる	ふえ	えて	きて	いるた	め、肖	削減は
率性評価	・や! 間を ・成:	)方を工夫して 削減できない	<b>務時間)の</b> に で事務事業にかい。 で 職員以外の来	系る業務時		≑地がない	事務処理	関等は	必要最	<b>近</b> 限原	度の第	業務	詩	間	で対り	応して	∵いる。	
D公平性評価	·事 不公	業の内容が一 :平ではないか	<b>負担の適正</b> 部の受益者に っ? 平公正になっ	に偏っていて		公正である 「必要がある	国分中央実施してお									で高校	教育	として
	(1)18	マ評価者(課	長)としての	評価結果		(2)全体総括(振	り返り、反	<b>支省点</b>	点)									
総		的妥当性 :効性	<ul><li>■ 適切</li><li>□ 適切</li></ul>	<ul><li>□ 見直す必</li><li>■ 見直す必</li></ul>	必要がある 必要がある	予算の範囲内で、	年次的にノ	パソコ	ンリース	ス契約で	を更新	新し	て	いる	5。設	備に	ついて	には、
括	C 效	率性	■ 適切	□ 見直す必	必要がある	経年劣化等で老村 ある。	万化するなと	ど、生	徒の教	有環境	竟はす	まだ、	<b>、</b>	十分	とは	いえた	ない状	況で
		·平性	適切	□ 見直す必	少要がある													
		<mark>5向性<pl< mark=""> 果にもとづく</pl<></mark>	AN > 合後の方向	性		(2)廃止	又は休止す	すべき	きとしま	ト場合	で の 理 の 記	甲由	1					
(1)	□ 廃业	-		·当性①②、有	効性⑤の約		~10 F/-II .	,	<u> </u>	~ 700 III								
	□ 休业	-	[目的妥	当性①②、有	効性⑤の約	吉果]												
			= -	的妥当性①③														
		統合•連携 ı性改善(成果		効性⑥の結果 効性④の結果	=													
		性改善(コス		率性⑦⑧の絹	=													
	□公平		[公	平性⑨の結果	<del>!</del> ]													
	□現り	:維持·継続 ■																
(3)	具体的	な改善計画	*	(1)のチェック	7項目に対し	し、具体的にどのよ	うに取り組る	むのか	か									
			み概要及び			)平成26年度に				な内容	F							
つけ リン教生徒	て整備し ープロ実 ス更新は 室につい の教育野	ていく。また、 習室について せず、年間保 いては、年次的	ける設備につい 6つあるパソコ には、26年度の 守委託で対応 いたパソコンリー 行うことで生徒 る。	コン教室のうち の校舎解体に ふする。残りの ース契約を更新	の3号 室 伴い、 ペンコ 新し、	朽化する設備については、年次的については、年次的の他に緊急を要する	にパソコン!	リース	<契約を	更新し	、生 しょうしょう かんしょ かんしょ かんしょ かんしょ かんしょ かんしょ かんしょ かんしょ	徒の						

評価対象	年度	平成:	24年度	<u>事務</u>	事業	評	価 表	<u> &lt;一般用&gt;</u>				7	様式1
事務事	業	778	911 事務	国公山	央高校剧	単担答:	田車業		担	当	部	教育部	
<del> </del> П	ド	770	事業名	当カヤ	大同仪员	支物目	生尹未		担	当	課	国分中央高等	学校
政策:	名	4	育み磨きあう	まちづくり					グ	ル・	ープ	管理グループ	
施策	名	1	学校教育の	充実					電	話	番号	46-1535	
基本事	業名	7	高等学校教	育の推進					内	線	番号		
	会計	一角	<b>设会計</b>				+ 414	□ 単年度のみ					
予	款	10	教育費				事業 期間	■ 単年度繰返	(開始年月	茰	S 44	4 年度~)	
予 算 科 目	項	4	高等学校費				MIHI	□ 期間限定複数	数年度(		~	• )	
目	目	2	高等学校管	理費			根拠法令・						
	コープ	778	3211				条例等						
関連計	一画			•									
1. 現状报	巴握	(1)事	務事業の目的	と指標	<do></do>								

### ① 手 段 (事務事業の概要)

園芸に関する基礎的・基本的な知識と技術を学ぶとともに、植物バイオ・情報処理等の先端技術を 習得し、近代的・科学的な判断のできる農業経営者や農業の理解者になることを目指す。そのため に園芸工学科生徒の授業・農業実習として、小畑農場の適切な管理と学校施設・設備の不良箇所 改善など維持管理に努め、安心安全な教育環境の整備を図る。安全点検による不良箇所の確認を 行い、担当教諭と協議し修繕等を実施する。

(平成23年度から対象指標のイを変更)

## 平成24年度実績

- ・固定ベンチの購入
- ・その他修繕

な

活

・円滑な農場運営の維持及び農業指導学習 に要する経費

## 平成25年度計画

- ・軽トラックの購入
- ・その他修繕
- ・円滑な農場運営の維持及び農業指導学習 に要する経費

2	) <b>活動指標</b> (事務事業の活動量)		単位	23年度 (実績)	24年度 (実績)	25年度 (見込)	26年度 (見込)
ア	安全点検回数		件	12	12	12	12
1	生産物売上高		千円	4,189	4,251	4,345	4,345
ゥ							
3	) <b>対 象</b> (誰、何を 対象にしているのか)	<ul><li>④ 対象指標 (③対象の大きさを 表す指標)</li></ul>	単位	23年度 (実績)	24年度 (実績)	25年度 (見込)	26年度 (見込)
ア	国分中央高校の施設(農場)	施設数(施設台帳)	箇所	18	18	18	18
1	国分中央高校園芸工学科の生徒	園芸工学科の生徒数	人	118	114	119	120
ゥ							
(5)	) <b>意 図</b> (対象を どうしたいのか)	<b>⑥ 成果指標</b> (⑤意図の 達成度を表す指標)	単位	23年度 (実績)	24年度 (実績)	25年度 (見込)	26年度 (見込)
ア	不良箇所の改善等により適切な 教育環境を実現する。	施設・設備の修繕件数	件	16	14	15	16
1	農業実習を通じて農業関係企業の就職や農 業系の進学者数を増やす	卒業生のうち農業関係企業の就職者数や農 業系学校の進学者数	人	6	13	14	15
ゥ							
T	) <b>結 果</b> (どんな結果に 結び付けるのか)	<b>⑧ 上位成果指標</b> (⑦結果の達成度 を表す指標)	単位	23年度 (実績)	24年度 (実績)	25年度 (見込)	26年度 (見込)
ア	心身ともに充実した高校生活が出来るように なる	就職•進学率	%	98.6	97.0	***	***
1							
(2	)事業費	単位・千円 (3)事務事業の環境変化・住	<b>足音目</b>				

#### 24年度 25年度 (決算) (予算) 当初予算額 5,928 7,111 算 補正及び流用 額 算 合 5,928 7,111 国庫補助金

#### 支 出 0 地 方 0 算 そ の 他 4,251 額 般 財 源 1,677 出 合 5,928

① この事務事業は、いつ頃、どのような きっかけで開始されたのか? 草花等の育成に地下水を利用していたが、ここ2.3

園芸工学科があることから生徒の授業・農業実 習のために始まった。また、農場新設から施設 の維持補修が始まった。

③ この事務事業に対して誰からどんな意見や要望が寄せられているか?

園芸工学科の教員から、施設の老朽化が激し く改善してほしいとの要望がある。

④ この事務事業に対する議会から出された 意見

事務事業を取り巻く環境は、開始時期又

は5年前と比べてどう変わったのか?

年で草花等の生育が順調でない原因を調査したとこ

ろ、水質検査でアルカリ度が高いことがわかった。

特に無し

	事業 一ド	778211	事務国外	}中央高校	農場管理事業				担当部担当課	教育部	1 宣笙学坛
	_^		争耒名				5年度 / ツ	17.台)			き高等学校
		単位:千円	単独	<mark>24年度 (》</mark> 補助	合計	単独	25年度 (当社 補助	別字昇》 合計	単独	<mark>26年度(!</mark> 補助	合計
1	報	酬					1				
2	給	料									
3	職員	手 当 等									
4	共	済 費									
7	賃	金									
8	報	償 費									
9	旅	費	136		136	140		140	135		135
10	交	際費	4.445		1.115			4.450	1.010		4.04.0
11	需消	用 費	4,115		4,115	4,450		4,450	4,310		4,310
	燃燃	料費	2,289 504		2,289 504	2,450		2,450	2,400 410		2,400
	食		304		304	430		430	410		410
		刷製本費									
	光	熱水費	777		777	760		760	680		680
	修	<u> </u>	545		545	810		810	820		820
	12	47E 11	010		010	010		010	020		020
12	役	務費	457		457	632		632	562		562
		信運搬費	33		33	35		35	40		40
	広	告 料									
	手	数料	242		242	336		336	280		280
	保	険 料	182		182	261		261	242		242
13	委	託 料	748		748	767		767	751		751
14		及び賃借料									
15		請負費									
16		才料費	94		94	97		97	100		100
17		財産購入費 			250						2.2.2
18		購入費	270		270	900		900	200		200
19		補助・交付金	20		20	20		20	27		27
20	<u>扶</u> 貸	助費									
21		付 金 填及び賠償金									
22 23		<sub>呉及ひ賠慎並</sub> 利子・割引料									
24		ひ出資金									
25	積	<u>立</u> 金									
26	<del>-                                      </del>	<u>工 显</u> 附 金									
27	公		88		88	105		105	82		82
28	繰	出 金									
		計	5,928		5,928	7,111		7,111	6,167		6,167
		玉									
		県									
	地	方 債									
財	辺	地 債									
源	過	疎 債									
内訳	合	併特例債									
D/C											. = -
	そ	の他	4,251		4,251	4,345		4,345	4,500		4,500
-	— f	股 財 源 ■	1,677		1,677	2,766		2,766	1,667		1,667
		計国	5,928		5,928	7,111		7,111	6,167		6,167
祁	輔助率	県									
補	助										
		<del>本 本 領</del> 切 予 算		5.0	928 千円		亚成 24.4	主度 时海内	I 訳の「その他	この内部	
平成		<u>』 ア 昇</u> 及び流用		5,5	740   门	$\dashv$	十八 24 3	十定 别源内	かってい他	がいいい。	
	第1			第5回			E産物売払収 <i>入</i>				
24	第2			第6回		<b>   -</b>	参加费笙	の事業実施が	のための収入	: 詳田	
年	第3			第7回		<b>   -</b>	ジル貝守	ソヤ木大心	·//_U/U/4X/	トロル・グフ	
度	第 4			流用		$\dashv$					
		章 合 計			5,928 千円						

部教育部 事務事業 楘 778211 国分中央高校農場管理事業 事業名 抇 当 国分中央高等学校 コード 課 評価 評価理由 2 評価の部 **<SEE>** ① 政策体系との整合性 不良箇所の改修・修繕を行い、生徒の安心安全な実習環境の ■ 結びついている 整備を図ることで、専門性豊かな人材の育成や充実した高校生 ・この事務事業の目的は基本事業の意図 活を過ごすことが出来、就職・進学率の向上に結びつく。 □ 見直す必要がある (基本シートの結果)に結びつくか? 目 ② 公共関与の妥当性 的 ・この事業をなぜ市が行わなければならない ■ 妥当である 国分中央高校は、霧島市立高校であり、生徒の学校教育につ 妥 のか? いては市が事業を行う必要がある。 □ 見直す必要がある 当 ・税金を投入して、達成する目的か? 性 ③ 対象・意図の妥当性 ■適切である 評 □ 対象を見直す必要がある 霧鳥市立高校を対象したものであり 適切である。 価 ・対象や意図を限定又は追加すべきか? □ 意図を見直す必要がある ④ 成果の向上余地 □ 向上余地はない 施設の老朽化が激しいため、修繕箇所が増大している。また、 ・成果指標の現状値をあるべき水準まで向 (十分に成果が出ている) 農業実習用の2トンダンプ等が経年劣化により故障が多い。 上させることができるか? ■ 向上余地がある В ⑤ 廃止・休止の成果への影響 有 適切な教育環境を形成するのが難しくなり、専門性豊かな人材 影響がある の育成や生徒が充実した高校生活を過ごすことが出来なくな ・事務事業を廃止又は休止した場合にどの 劾 ような影響があるか? □ 影響がない る。 性 評 (他に手段がある場合の事務事業名等) ⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 ■ 他に手段がない 価 ・目的を達成するためには、この事務事業以 外の手段はないか? □ 他に手段がある ・類似事業との統廃合や連携を図ることによ □ 統合できない □ 連携できない り成果の向上が期待できるか? □ 統合できる □ 連携できる 事業費の削減余地 С ・成果を下げずに事業費を削減できない 経年劣化による施設の老朽化が著しく、不良箇所の発生件数 ■削減余地がない が増えてきている か?(仕様や工法の適正化、住民の協力な □ 削減余地がある 劾 淧 ⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 性 やり方を工夫して事務事業に係る業務時 ■ 削減余地がない 事務処理等は必要最低限度の業務時間で対応している。 間を削減できないか? 評 ・成果を下げずに職員以外の対応や委託を 価 □ 削減余地がある できないか? 9) 受益機会・費用負担の適正化余地 公 ■公平・公正である 国分中央高校生等の限定された適切な事業で高校教育として 事業の内容が一部の受益者に偏っていて 性 実施しており、受益の機会は公平といえる。 不公平ではないか? □ 見直す必要がある 評 ・受益者負担が公平公正になっているか? (1)1次評価者(課長)としての評価結果 (2)全体総括(振り返り、反省点) 総 A 目的妥当性 ■ 適切 □ 見直す必要がある 不良箇所の修繕はしているが、経年劣化による施設の老朽化が著しく、不良箇所 B 有効性 □ 適切 ■ 見直す必要がある の発生件数が増えてきているのが現状であり、生徒の教育環境の整備は不可欠で ある。今年度は水道管を13¢から30¢に太くした。これにより生産物(野菜・草花等) ■ 適切 C効率性 □ 見直す必要がある 括 の生育のための作業が効率的に行えるようになった。 D 公平性 適切 □ 見直す必要がある 今後の方向性<PLAN> (1)評価結果にもとづく今後の方向性 (2)廃止又は休止すべきとした場合の理由 [目的妥当性①②、有効性⑤の結果] □ 廃止 □ 休止 [目的妥当性①②、有効性⑤の結果] □ 目的再設定 [目的妥当性①③の結果] □ 事業統合·連携 「有効性⑥の結果] ■ 有効性改善(成果向上) 「有効性④の結果] □ 効率性改善(コスト削減) [効率性⑦⑧の結果] □ 公平性改善 「公平性⑨の結果] □ 現状維持・継続 (3)具体的な改善計画 ※(1)のチェック項目に対し、具体的にどのように取り組むのか ① 平成25年度の取組み概要及び期待される効果 ② 平成26年度に取り組むべき具体的な内容 ・不良箇所については、優先順位をつけて修繕し、生徒の教 ・生徒の教育環境を維持するため、不良箇所の修繕を行う。また、生徒の農業実習用2ト 育環境の整備を行う。また、軽トラックが経年劣化により、故障 ンダンプが経年劣化のため、故障が多いので新規購入したい。 ・各種イベントに参加し、生徒の農産物販売実習を兼ねて、学科の紹介や農産物の販 が多いため新規購入する。 ・各種イベントに参加し、生徒の農産物販売実習を兼ねて、 売を行い、地域や関係団体との連携を行うなかで生産物売払収入を増やす努力をした 学科の紹介や農産物の販売を行い、地域や関係団体との連 携を行うなかで生産物売払収入を増やす努力をしたい。

評価シート <一般用>